

八戸書籍縦覧所 関連資料

編集・解説 鈴木淳世

東北大学東北アジア研究センター
上廣歴史資料科学研究部門・学術研究員

——日本最古級の図書館・八戸市立図書館の源流

全3巻

創設から一五〇年、「本のまち」八戸にある、
日本近代公共図書館の淵源を探る。

今般縦覧場設立ノ儀
直政君ノ遠慮ニ因リ
籍ヲ貯蓄セシメ百数十
到リ我八戸中普ロク智識
恩澤ヲ蒙ラサル者ア

ゆまに書房

電子書籍 同時刊行予定

価格等は、KinoDen/Maruzen eBook Library/EBSCO eBooks/
日本電子図書館サービスほか各サービスにお問い合わせ下さい。

八戸書籍縦覧所関連資料 全3巻

——日本最古級の図書館・八戸市立図書館の源流

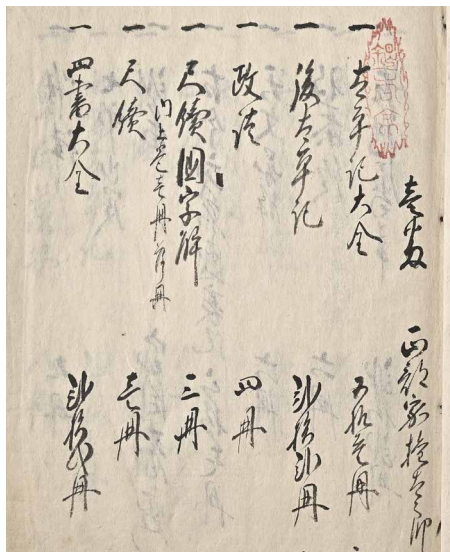
【編集・解説】 鈴木淳世

● 揃定価：本体 60,000 円＋税 ISBN978-4-8433-6868-8 C3300 A5判上製／カバー装

青森県・八戸市立図書館は明治 7 年 (1874) 創設の私立図書館「八戸書籍縦覧所」を前身としており、その歴史は今年で 150 年に及ぶ。そして、八戸書籍縦覧所は宝暦 3 年 (1753) 頃創設の書物貸借組織「大仲間」を前身としており、近世書物貸借組織から近代公共図書館に至るまでの紆余曲折の過程を経験した稀有な組織である。本書は、その日本近代公共図書館の淵源の一つとも言うべき八戸書籍縦覧所の関連資料 (八戸市立図書館所蔵) を収録した。

全3巻の構成と収録資料の概要

2024 年 11 月刊行予定



●第1巻●大仲間・小仲間関連資料

ISBN978-4-8433-6869-5

定価：本体 22,000 円＋税

①仲間書物預順

寛政 10 年 (1798) 頃に作成されたと推定される大仲間の蔵書目録。管見の限り、大仲間の蔵書目録としては最も古い資料。

②八戸仲間書物記

天保初期 (1830～1832) に作成されたと推定される大仲間の蔵書目録。

③仲間書物目録

慶応元年 (1865) 7 月に大仲間構成員・中里家で作成された大仲間の蔵書目録の扣。

④書物改目録

明治 3 年 (1870) 2 月中旬に作成された蔵書目録。記載内容から作成者を大仲間構成員・新宮家と推定できる資料。

⑤書物目録

大仲間と同様に八戸城下で活動していた書物貸借組織・小仲間の蔵書目録 (後欠)。天保 6 年 (1835) 頃に作成されたと推定されるものであり、小仲間の全体像が垣間見える資料。

⑥仲間書物預本牒

安政 2 年 (1855) 9 月に作成された小仲間の蔵書目録 (後欠)。

⑦学校江御預御書物目録

天保 3 年 (1832) 閏 11 月に八戸南部家から学校 (藩校) へ貸与された書物の目録。大仲間と密接な関係にあった学校の性格の考察に役立つ資料。

●第2巻●八戸南部家書目

ISBN978-4-8433-6870-1

定価：本体 18,000 円＋税

⑧御書籍目録

万延元年 (1860) 10 月に作成された八戸南部家の蔵書目録。蔵書の一部が大仲間・学校に預けられ、後に八戸書籍縦覧所のものとなった八戸南部家の蔵書の全体像がうかがえる重要な資料。

⑨御書籍目録

文久 3 年 (1863) 2 月に作成された八戸南部家の蔵書目録。No. 8 の「御書籍目録」2-12-0-0-13 (八戸南部家文書) と内容的に共通する部分

が多いものの、文久 2 年 (1862) に加えられた蔵書 36 部 (5 丁) の記載がある。

⑩御本類御目録

明治 37 年 (1904) 11 月に作成された八戸南部家の蔵書目録。思想家・安藤昌益 (1703～1762) の著書『自然真営道』など、近世以来の貴重な蔵書の継承が確認できる資料。

●第3巻●弘観舎・八戸青年会関連資料

ISBN978-4-8433-6871-8

定価：本体 20,000 円＋税

⑪(書籍縦覧場設立趣意書)

明治 7 年 (1874) 5 月に創設された八戸書籍縦覧所の運営団体「弘観社」＝弘観舎の趣意書・規則。大仲間と八戸書籍縦覧所の組織的連続性が明示されている貴重な資料。

⑫八戸書籍縦覧所

八戸書籍縦覧所創設時の引継書類や文部省への報告書類 (下書) などをまとめた資料。

⑬弘観舎蔵書目録

明治 29 年 (1896) 12 月に八戸書籍縦覧所の運営団体・八戸青年会で作成された蔵書目録。

⑭八戸青年会寄贈書籍目録

明治 44 年 (1911) 10 月の八戸青年会「休会」後、同会が「八戸図書館」に寄贈した書物の目録。

⑮八戸青年会員名簿

明治 28 年 (1895) 以降、八戸書籍縦覧所の運営団体となった八戸青年会の会員名簿。明治 23 年 (1890) 8 月に改正されたものであり、初期メンバーの構成が把握できる重要な資料。

※表図版＝「(書籍縦覧場設立趣意書)」(部分) 近世書物貸借組織・大仲間「世話取締」の逸見興長・新宮興運が八戸南部家から旧八戸城の物見櫓の払い下げを受け、明治 7 年 (1874) 5 月、大仲間を中心とするメンバーと共に創設した八戸書籍縦覧所の運営団体「弘観社」＝弘観舎の趣意書・規則。蔵書は大仲間・八戸南部家・藩学校 (学校の後身) のものを引き継いだ。これが、八戸市立図書館の発祥である。

※裏図版＝「八戸仲間書物記」(部分) 天保初期 (1830～1832) に作成されたと推定される大仲間の蔵書目録。

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 <https://www.yumani.co>

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491 / Fax.03(5296)0493 年 月 日		取扱店
八戸書籍縦覧所関連資料 全3巻 揃定価：本体 60,000 円＋税 ISBN978-4-8433-6868-8 C3300		
ご注文書	セット	
お名前	TEL ()	